

平成28年1月26日

保護者様

栃木県立足利清風高等学校長

荒天時の対応について

厳冬の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、特に東日本大震災以降、児童・生徒の発達段階に応じた防災安全教育の重要性が、様々な場面で指摘されています。本校においても、避難訓練や講話等を通じて、緊急時に周りの状況を把握し、自らの命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を育成するよう心掛けているところです。「主体的に行動する態度」とは、まず、自分自身が、より早く危険を予測し、その状況にふさわしい安全な行動を選択・実行するとともに、家族や級友など身近な人々の安全にも配慮ができることだと言われています。

このような趣旨に則して、裏面「台風等の自然災害発生時における登下校について」を定めましたのでお知らせいたします。

なお、休校の対象となる特別警報が発令されなくても、その他の警報、注意報などが発令されるなど、登校が極めて危険であると保護者が判断された際には、学校からの連絡の有無にかかわらず、くれぐれも安全を最優先に考え、無理な登校は控えるなど、細心の注意をお払いただきますようお願いいたします。

また、本校では東日本大震災の教訓から、複数の連絡手段として、クラスの緊急連絡網・本校のホームページ・一斉配信メールを整えております。もし、一斉配信メールにまだ登録をなさっていない方は、ぜひご登録をお願いいたします。

ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。